

## 令和3年度第2回 名古屋市被災地域支援本部会議

日時：令和3年12月13日（月）  
午後3時30分～  
方法：庁内Web会議システム

### 議 題

- 1 被災地への支援
- 2 陸前高田市との交流



# 1 被災地への支援

## (1) 陸前高田市への職員派遣

### ア 令和3年度の職員派遣

職 務 内 容	派 遣 所 属 名 ( 派 遣 人 数 )
防 災 関 係 業 務	防 災 課 ( 1 )
道 路 等 復 旧 業 務	建 設 課 ( 1 )
復 興 計 画 推 進	都 市 計 画 課 ( 4 )
計	6 名

(注) 地方自治法第252条の17に基づく年間を通じた派遣

### イ これまで陸前高田市に派遣した職員が貢献した主な事業

- ・財務システム及びデータの復旧
- ・庁内LANの構築、情報ネットワークの復旧
- ・り災家屋の調査、土地関係のデータの復旧
- ・戸籍・住民票、国民健康保険、生活保護、介護保険、家庭ごみ収集等の行政サービスの回復
- ・震災復興計画の策定
- ・農業・林道関係のデータの復元
- ・防災行政無線の復旧、地域防災計画の改訂
- ・バス路線や鉄道等の交通政策の調整
- ・被災した保育所、子育て支援センター等の再開
- ・災害保健支援チームの総括、被災者に対する保健指導等の実施
- ・被災した小中学校の施設の応急復旧、建設
- ・水道事業の運営事務及び被災した水道施設の復旧

- ・被災中小企業の再開支援
- ・区画整理事業に係る調整・工事
- ・橋梁復旧・復興道路の整備
- ・高台への防災集団移転に係る調整・工事
- ・火災予防に関する技術指導等の実施
- ・新築家屋等に係る固定資産税の評価
- ・市民税等に係る申告相談受付、課税資料の処理
- ・埋蔵文化財の発掘調査
- ・新図書館の開設準備、運営面に係る指導
- ・観光交流・振興施策の推進

#### ウ 陸前高田市への支援に対するネット・モニターアンケートの実施

本市が実施する職員派遣等の被災地支援活動について、市民の考えや評価を調査し、今後の被災地支援の参考にする。

区 分	内 容
調 査 テ ー マ	東日本大震災被災地支援活動について
期 間	令和3年9月17日（金）～9月27日（月）
対象モニター	調査対象500名に対して有効回収数467名 （有効回収率93.4%）
調 査 結 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員派遣について、「賛成」が57.2%、「どちらかという賛成」が34.0%</li> <li>・来年度以降の陸前高田市への職員派遣について、「陸前高田市の要望に即した職員派遣を継続した方がよい」が73.7%</li> </ul>

## エ 令和4年度の職員派遣予定

### (ア) 方針

- ・被災地の復興事業の状況に鑑み、引き続き陸前高田市に対して、要請のあった職務について職員を派遣し、支援を行う。
- ・被災地域支援本部事務局職員及び派遣元局の職員が定期的に被災地を訪問し、派遣職員との情報交換、意見交換の場を設けることにより、派遣職員が孤立しないようサポートを継続する。

### (イ) 内訳

職 務 内 容	職 種	人 数
防 災 関 係 業 務	一 般 事 務	1 名

(注) 陸前高田市と名古屋市被災地域支援本部との調整に基づく現時点での見込み。年間を通じて同一職員による派遣を予定。

## (2) 報告会等の開催

### ア 市民向け講演会等

市民の理解と協力を得て、継続して被災地支援を行っていくとともに、市民の防災意識の高揚を図るため、被災地の現状や震災の教訓等を伝える取り組みを行っている。

#### (ア) 被災地派遣職員による講演会

内 容：被災地支援を通して培った知識や経験等について、体験談を交えながら、市民へ伝えるもの

場 所：4区（令和3年11月30日時点。今年度中に全区で実施予定）

#### (イ) パネル展示等各種広報

- ・港防災センターでのパネル常設展示
- ・外郭団体主催の作品展等でのパネル展示
- ・市公式ウェブサイトへの掲載

### イ 職員向け報告会

報告会を開催し、被災地支援活動を通じて得られた経験等を伝えることで、行政組織としての防災力の向上につながる取り組みを行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、被災地派遣職員による報告会のコンテンツを庁内イントラネットへ掲載する形式で実施した。

期 間：令和3年9月16日（木）～11月1日（月）

受講者数：222名

## ウ 小中学校等の防災教育における講師の派遣

被災地へ派遣した職員を小中学校・特別支援学校へ講師として派遣し、東日本大震災の教訓等を伝え、子どもたちの防災意識の向上を図る取り組みを新たに実施した。

実施校：16校（令和3年11月30日時点）

## エ 東日本大震災に係る被災地支援記録誌の作成

震災10年を節目に、陸前高田市への行政丸ごと支援を始めとした東日本大震災被災地に対する本市の支援活動や支援から生まれた陸前高田市との交流等について取りまとめ、記録誌として発行した。

### （ア）主な構成内容

- ・ 東日本大震災の概要
- ・ 陸前高田市への行政丸ごと支援及び交流
- ・ 支援から得た教訓等の還元及び南海トラフ地震への備え
- ・ 陸前高田市の概要

### （イ）発行時期

令和3年11月

### （ウ）仕様

- ・ A4判 275ページ
- ・ 850部

### （エ）配架・閲覧場所

- ・ 市民情報センター、区役所情報コーナー、支所、図書館等
- ・ 市公式ウェブサイトへの掲載

### (3) 陸前高田市への医療支援

名古屋市立大学看護学部の推薦入試に設置された陸前高田市枠の卒業生に対してフォローアップを行うことで、看護の中核的人材の育成を図り、陸前高田市の地域医療を支援する。

#### ア 内容

陸前高田市が定めた「名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠卒業生登録制度要綱」に基づき、原則、就職から2年目の卒業生に対して、名古屋市立大学病院における実習や実習結果に基づく病院職員との意見交換等を実施する。

#### イ 期間

令和4年2月2日（水）～2月4日（金）（予定）

#### ウ 対象者

名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠卒業生 3名

#### 《参考》

名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠の概要

区 分	内 容
対 象 者	陸前高田市に住民登録を有し岩手県気仙地区内の高等学校卒業の者
期 間	平成25年度入学～平成29年度入学の5年間
支 援 内 容	・ 入学検定料及び入学料、4年間の授業料を全額免除 ・ 名古屋市立大学が宿舍を斡旋し、家賃の一部を名古屋市と名古屋市立大学が負担
卒 業 生	10名



(4) 被災者の受け入れ支援

ア 本市受入被災者数

令和3年10月31日現在

区 分	世 帯 数	人 数
市 営 住 宅	0 世帯	0 名
県 営 住 宅	1	2
民間住宅等	130	304
計	131	306

イ 各局の主な支援実績

所 管 局	支 援 内 容	実 績
防災危機管理局	定期便による情報提供	157回
財 政 局	税務証明申請に係る 手数料の免除	410件
スポーツ市民局	女性のための総合相談	42件
	住民票の写し等の 手数料の免除	1,117件
	東日本大震災被災者支援ボラン ティアセンターなごやの運営	相談4,008件 交流会65回、1,735名
観光文化交流局	外 国 人 相 談	9件

所 管 局	支 援 内 容	実 績
環 境 局	リユース（再使用） 家具の提供	127世帯、261個
健康福祉局	生活福祉資金等の貸付	16件
	生活保護	25件
	介護保険	保険料災害減免等38件
	障害福祉サービス、 自立支援医療等に関する相談	54件
	予防接種の受付	449名
	国民健康保険、後期 高齢者医療、国民年金	保険料災害減免等364件
子ども 青少年局	保育所への入所	17園、25名
	妊婦及び乳幼児の 健康相談と健康診査等	母子健康手帳交付等40件 乳幼児健康診査52名
住宅都市局	市営住宅等の提供 〔風呂釜、コンロ、毛布、 照明器具、エアコンの提供〕	入居決定145世帯、395名 〔風呂釜 70個 コンロ 113個 毛布 232枚 照明器具 114個 エアコン 52台〕
緑政土木局	東山動植物園への無料招待	9回、282名
教育委員会	小学校・中学校・高等学校・ 幼稚園等への転入学の人数	109校（園）、187名
	就学援助（認定件数）	63件
交通局	マナカの進呈	271世帯、457人

(注) 実績は平成23年3月11日から令和3年10月31日までの  
延べ総数

## 2 陸前高田市との交流

被災地支援を契機として広がってきた交流について、これまでの取り組みに加え、市民交流団の派遣や「奇跡の一本松」後継樹の植樹等を通じて、友好都市である陸前高田市との交流を一層推進する。

### (1) 市民の交流

#### ア 市民交流団の派遣

防災、スポーツ、産業、文化の4つの分野における市民の活動を通じて、両市の市民や団体の親交を深めるため、陸前高田市へ市民交流団を派遣している。

区 分	時 期	主な内容
防 災 交 流 (防災危機管理局)	令和3年 11月12日(金)～ 11月14日(日)	・陸前高田市長等による講話 ・被災経験等を通じた交流 ・沿岸地域での津波避難体験
スポーツ交流 (スポーツ市民局)	令和4年 2月5日(土)～ 2月6日(日) (予定)	・サッカーの交流試合
産 業 交 流 (経済局)	令和3年 10月29日(金)～ 11月22日(月)	・名古屋ご当地グルメを味わうイベントの開催等
文 化 交 流 (観光文化交流局)	令和4年 2月中旬 (予定)	・現地市民との踊り曲の合同練習及び発表

#### イ 名古屋市及び陸前高田市市民交流事業補助制度

両市における市民交流の促進に資することを目的として、交流事業を実施する団体に対する補助制度を実施した。

補 助 金 額：上限10万円

交付申請団体数：1団体（令和3年11月30日時点）



市民交流団の派遣（防災に関するワークショップ）



市民交流団の派遣（産業分野における名古屋ご当地グルメを味わうイベント）

## (2) 子どもたちの交流

平成24年に陸前高田市と名古屋市の両教育委員会において締結した「絆協定」により、両市の子どもたちによる相互訪問等を通して交流を深めるとともに、両市の将来のまちづくりを担う人材の育成を図った。

### ア 本市の中学生による陸前高田市訪問

区 分	内 容
実 施 期 間	令和3年10月29日（金）～10月31日（日）
訪 問 者 数	38名〔千種区7校、中村区7校、中区1校、守山区8校、名東区8校、天白区7校より各1名〕
主 な 行 程	<p>&lt;1日目&gt; 移動（午後名古屋市を出発）</p> <p>&lt;2日目&gt; 陸前高田市震災遺構の見学 中学生交流会、陸前高田市長からの講話 東日本大震災津波伝承館の見学等</p> <p>&lt;3日目&gt; いのちをつなぐ未来館の見学</p>
生徒の主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでニュースでも東日本大震災の悲惨さを見るのがつらく、目を背けていたが、自分たちの役割はこの教訓を未来につなげることだと気づいた。</li> <li>現地の方のお話を聞くことで、震災への思いを直に感じられた。震災を経験していない若い世代にこそ伝えていかなければならないと思った。</li> <li>もし、自分がこのような災害に直面したら、何をすべきなのかを考え行動していくことが重要であると改めて感じた。</li> </ul>

### イ 陸前高田市の中学生による名古屋市訪問（予定）

区 分	内 容
実 施 期 間	令和4年1月10日（月）～1月12日（水）
訪 問 者 数	20名
主 な 行 程	<p>&lt;1日目&gt;中学生交流会 名古屋城見学、科学館見学</p> <p>&lt;2日目&gt;職場体験等</p> <p>&lt;3日目&gt;本市中学校での交流 「奇跡の一本松」後継樹見学等</p>

### (3) 産業交流

#### ア 陸前高田市で開催されるイベントへの出展【中止】

陸前高田市産業まつりにおいて、なごやめしの提供を行う名古屋市ブースを出展し、陸前高田市民や地元商工業者との交流を図る。

#### イ 本市で開催されるイベントへの出展（予定）

名古屋まつりや名古屋城夏まつり等のイベントの中止及び縮小に伴い、東山動植物園において「絆の日」交流事業と併せて物販ブースを出展し、陸前高田製品の販売やPRを行う。

※13ページに再掲

### (4) 文化交流

#### ア 市民美術展等での相互展示

両市で開催されている市民美術展等において、両市の市民の優秀作品を隔年で相互に展示し、交流を図るもの。今年度は陸前高田市で開催された市民芸術祭において、名古屋高年大学鯉城学園で美術を専攻する学生の優秀作品を展示した。

期 間：令和3年10月30日（土）～11月1日（月）

展示作品：陸前高田市民芸術祭の優秀作品と併せて鯉城学園学生の優秀作品を展示

#### イ イベントにおける郷土芸能の披露（予定）

令和4年3月に開催予定の名古屋城におけるイベントに、陸前高田市の芸能団体を招待し、名古屋市民の前で郷土芸能を披露する。

(5) 「絆の日」に関する取り組み

「奇跡の一本松」後継樹の東山動植物園への植樹を契機として定めた「絆の日」について、令和4年3月23日を中心として交流事業及び防災啓発事業を実施する。

ア 本市における主な取り組み（予定）

区 分	内 容	場 所
交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「奇跡の一本松」後継樹のライトアップ</li> <li>・消防音楽隊による被災松鍵盤ハーモニカ演奏等</li> <li>・高田松原を守る会による講演</li> <li>・植物園内交流ガイドツアー</li> <li>・陸前高田物産及びSDGsブース出展</li> <li>・友好都市交流パネル展示</li> </ul>	東山動植物園
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両市の交流記念踊りの披露</li> <li>・陸前高田物産ブース出展</li> </ul>	名古屋城
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレンドシップ協定締結10年交流事業</li> </ul>	南陽中学校
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸産食材を使用した献立の提供</li> </ul>	小中学校等
防災啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市陸前高田市との「絆の日」PRパネル展示</li> </ul>	区役所等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設における「絆の日」啓発ポスター掲示</li> </ul>	市内イオン各店舗
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「絆の日」企画展</li> </ul>	港防災センター
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災コンサート</li> </ul>	日本特殊陶業市民会館
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災クイズラリー</li> </ul>	水の歴史資料館

《参考》

陸前高田市における主な取り組み（予定）

- ・「奇跡の一本松」のライトアップ
- ・「奇跡の一本松」後継樹の写真展示
- ・SNS等による名古屋市の「絆の日」に関する取り組みの紹介
- ・広報りくぜんたかたへの「奇跡の一本松」後継樹の記事掲載





「奇跡の一本松」後継樹記念植樹式典（令和3年3月23日）



名古屋城春祭りでの踊り曲「いこまたかた、あぼっせなごや」披露  
(令和3年3月28日)



(6) 過去の災害における教訓等を活用した相互啓発

ア 東日本大震災10年を契機とした各区巡回展示

各区役所等にて、陸前高田市を中心とする被害状況や教訓等を伝える写真パネル等の巡回展示を実施した。

期 間：令和3年2月1日（月）～6月4日（金）

場 所：各区役所 情報コーナー等

イ 伊勢湾台風及び東海豪雨の教訓を伝えるパネル展示

陸前高田市の商業施設にて、伊勢湾台風及び東海豪雨の被害状況や教訓等を伝えるパネル展示を実施した。

期 間：令和3年11月1日（月）～11月15日（月）

場 所：アバッセたかた

ウ 東日本大震災津波伝承館と連携したオンライン授業

本市の小中学校等における防災教育の充実を図ることを目的として、東日本大震災津波伝承館が所有するコンテンツについて現地解説員から直接学び、防災意識を高めるオンライン授業を実施した。

実 施 日：令和3年12月13日（月）

実 施 校：白水小学校（南区）

参 加 者：小学4年生 38名

(7) 防災担当職員の現地派遣研修

各区の防災担当職員や防災危機管理局職員を陸前高田市へ派遣し、陸前高田市民及び職員との交流等を通じて学んだ地域防災の知識や教訓等を本市の防災対策に活用するとともに、防災人材の育成・強化を図った。

区 分	時 期	人数	主な内容
区 職 員	令和3年 11月4日(木)～ 11月5日(金)	9名	・現地の行政関係者による講話・質疑
	令和3年 11月12日(金)～ 11月13日(土)	7名	・東日本大震災津波伝承館や震災遺構等の視察
防 災 危 機 管 理 局 職 員	令和3年 11月8日(月)～ 11月12日(金)	3名	・現地の行政関係者による講話・質疑
	令和3年 11月29日(月)～ 12月3日(金)	4名	・東日本大震災津波伝承館や震災遺構等の視察
	令和3年 12月13日(月)～ 12月17日(金)	3名	・陸前高田市職員との交流ワークショップ ・現地市民へのヒアリング



区職員の現地派遣研修（東日本大震災津波伝承館の視察）



区職員の現地派遣研修（津波避難体験）

